



未来の創造(人材育成)の原則・行動に関する宣言:次世代研究者支援(日本語仮訳)

前文

学術研究はいずれも複雑なシステムを形成し、そこにおいて人材を育成し、知識を高め、イノベーションを推進しており、学問分野全体にわたって絡み合う様相を示している。研究活動のコミュニティは、社会の様々な領域の間で人材、研究成果と発見の交流を伴う非常に大規模でグローバルな枠組みとの結びつきをますます深めている。

グローバルな研究システムの中で、GRC 参加者の行動は、若い人材に向けて研究キャリアの魅力を高め、大学研究者や研究実施機関のために専門キャリア開発の機会を促進する上で重大である。GRC 参加者は、次代に必要なになると予想されるスキルやトレーニングの種類、社会的に責任ある研究活動を推進する方法、さらに学術研究が、変わりゆく社会、文化、経済、政治、環境的なグローバルな文脈でどのように貢献し、作り変えられるのかを能動的に考えていくべきである。したがって GRC 参加者は、各領域の研究エコシステムのいっそうの進歩と開発のレベルに対応し連関する、次世代の専門研究者に焦点を絞ったプログラムやイニシアチブの発展と支援を遂行する。

原則と行動

キャリア開発の全レベルで人材を養成する

GRC 参加者は、独創的な研究を奨励し、研究の自由を提供し、独立性を涵養し、さまざまなキャリア形成の段階にある研究者の要望に応じた研究助成事業や活動を実施するべきである。

多様で秀逸な人材を集め、確保する

GRC 参加者は、研究における機会平等を推進し、様々な背景をもつ人々が学術的・科学的なキャリアを歩むように奨励する仕組みを開発して研究の質向上に貢献しなければならない。

研究の教育的可能性を活用する

GRC 参加者は、若い世代や一般市民の学術研究への関心を促し育てるよう、関係機関に対してはたらきかけるべきである。GRC の参加者はその権限に応じて、あらゆるレベルの学生が研究に参画する支援をするべきである。

学際的研究の開発

GRC の参加者は、学際的な研究を適宜認め、奨励すべきである。研究者は、学際的なアプローチを探究し、新興の研究領域に取り組む機会を与えられなければならない。

多様な各種スキルの習得とアウトリーチ活動の奨励

GRC の参加者は、リーダーシップ、起業家精神、外国語、コミュニケーション能力、管理、指導力などの、汎用可能な技術を研究者が習得するよう奨励し、これらの技術がもつ価値を認識すべきである。アウトリーチ活動（普及、公的関与、知識の交換）へのインセンティブと、公的および民間のステークホルダーとの連携が確立されなければならない。

高度に専門的な環境を推進する

GRC の参加者は、研究者を専門家として認め尊重し、仕事と生活の調和、適切な物的インフラと職場環境、キャリア開発の機会を促進する政策を支持すべきである。

流動性の促進

GRC の参加者は、地理的、学際的、分野間的、またバーチャルな研究者の流動性がキャリア開発と研究の質向上に貢献することを認識している。GRC の参加者は、効果的な共同研究を促し、参加を増やすメカニズムを開発し、奨励すべきである。

グッド・プラクティスの共有

GRC の参加者は上記の全領域において、将来の研究環境で成功するために必要な幅広い各種スキル開発を目指す革新的なアプローチを含めて、実施事例や経験を共有すべきである。

研究倫理の育成

GRC の参加者は、全レベルのキャリア開発において研究倫理を促進すべきである。